

ASD 児者の社会適応に必要な ライフスキル と ソフトスキル ～ 青年期の「自己理解」合宿から見える課題～

現在、青年期 ASD の集中型「自己理解」研修プログラム（「自己理解」合宿）を実施している。この「自己理解」合宿中 ASD 者の行動パターンを観察していると、予想以上に日常生活で「疲れる」状態に陥りやすいことがわかってきた。したがって従来から指摘されている社会で「頑張る」ためのソーシャルスキルと同等、もしくはそれ以上に日常生活を「安定して過ごす」ためのライフスキル、そして疲れている自分に「気づく」ためのソフトスキルを獲得することが重要になってくる。そこで、今回の講演では「自己理解」合宿を通して見えてきた青年期の ASD の課題を通して、このライフスキルとソフトスキルの問題と対応について話を進めてみたい。

タンポポとは、福岡市自閉症協会における、高機能自閉症・アスペルガー症候群（高機能広汎性発達障害を含む）の子どもを持つ保護者のグループです。



2017 年 **2** 月 **23** 日(木) **10:00** 開始 **12:00** 終了予定

講 師： **木谷秀勝 先生** 臨床心理士 山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授
場 所： **ふくふくプラザ 501 研修室 (定員 63 名)** 参加費： **無料**

※当日タンポポ会員で机の移動や受付等のお手伝いの方を募集しています。お時間のある方は 9:30 に会場におこしください。

お申し込み方法

パソコン・携帯メール等でお申し込みできます。

info@fuk-autism.com

- ① 研修会名
- ② 参加者のお名前 ③ ご住所 ④ 連絡先 (TEL, メールアドレス等)
- ⑤ 所属 (家族、支援者、当事者など)

をご記入の上メールにて右記までお申し込みください。

※定員になり次第締め切ります。※お断りする場合のみご連絡いたします。ご了承ください。